

平成21年度後発医薬品安心使用促進事業の実施状況

1. 県民の日における後発医薬品リーフレットの配布及びポスターの掲示
平成21年6月6日(土) 献血テント
(リーフレット及びポスターはいずれも国作成のもの)
2. 薬と健康の週間「お薬相談・展示会」における後発医薬品Q&Aコーナー設置
「お薬相談・展示会」(主催: 栃木県、県薬剤師会等)
日時 平成21年10月17日(土)11:00~18:00
平成21年10月18日(日)11:00~17:00
場所 ベルモール 1F カリヨンプラザ (宇都宮市陽東)
3. 後発医薬品に関するアンケートの実施及び調査報告書のとりまとめ
 - ・調査期間: 平成21年3月~8月
 - ・回答数: 病院(85), 診療所・歯科診療所(1,538), 薬局(446), 医薬品卸(5), 県民(県政モニター)(169)/計2,243(回答率: 67%)
 - ・抽出された主な課題: 十分かつ適切な品質保証・情報提供・安定供給及び患者等への啓発
4. 後発医薬品安心使用促進協議会の開催
平成21年度第1回 平成21年10月23日(金)(ホテル東日本宇都宮)
→ 後発医薬品に関するアンケートについての報告
・アンケート結果を踏まえ、患者向けパンフレットの作成及び溶出試験の実施(年度内)を決定
平成21年度第2回 平成22年2月5日(金)(ホテル東日本宇都宮)
→ 平成21年度事業報告及び平成22年度事業計画について
5. 品質に関する試験(溶出試験)の実施状況
 - ・平成21年11月に後発医薬品が薬価収載されたものの内2成分(アムロジピンOD錠, サルポグレラート塩酸塩錠)を選定, 県内卸から収去。1成分につき、先発医薬品1品目及び後発医薬品4品目計5品目について溶出試験を実施し、2成分10品目とも基準に適合した。
6. 患者向けパンフレットの作成配布
 - ・印刷部数: 20万部を21年度~22年度で印刷(21年度は115,000部印刷)
 - ・配布先: 各薬局、県薬剤師会、各市町(国保担当課)、全国健康保険協会栃木支部、各健康福祉センター、宇都宮市保健所(すでに約10万部を配布済)

平成22年度後発医薬品安心使用促進事業の実施状況

1. 後発医薬品モニター薬局等調査の実施

(目的)

県内の後発医薬品の使用状況の推移や後発医薬品の調剤に係る意識変化などについて把握することにより、今後の対応策検討の資料等とする。

(実施方法)

- (1) 県内の薬局からモニター薬局を選定し、年度1回程度、後発医薬品の調剤等に係る調査を実施する。
- (2) モニター薬局数：県内20薬局
・宇都宮市(5薬局) ・県西地区(2薬局) ・県東地区(2薬局)
・県南地区(5薬局) ・県北地区(3薬局) ・安足地区(3薬局)
- (3) また、県内医薬品卸売販売業5社における医療用医薬品及び後発医薬品の取扱い金額等についても調査する。

(調査内容)

- (1) 各モニター薬局について、年度1回、1週間程度における、全調剤数に対する後発医薬品の調剤の割合や、後発医薬品の調剤に係る取組み意識等について、別添調査票により調査する。
 - (2) また、医薬品卸売販売業者5社における医療用医薬品の取扱い金額及び、そのうちの後発医薬品の取扱い金額(前年度計及び当該年度4月～7月計)等について調査する。
 - (3) 回答期限：平成22年8月31日
- 後発医薬品モニター薬局等調査報告書(案)の作成(H22.10)
(内容：モニター調査結果取りまとめ及び、平成21年度アンケートとの比較分析等)

2. 薬と健康の週間におけるイベント「お薬相談・展示会」での啓発

- ・後発医薬品Q&Aコーナー設置
 - ・患者啓発用パンフレット「ジェネリック医薬品の話」の配布
- 「お薬相談・展示会」(主催：栃木県、県薬剤師会等)
- 日時 平成22年10月16日(土)10:00～17:00
平成22年10月17日(日)10:00～17:00
- 場所 ベルモール1Fカリヨンプラザ(宇都宮市陽東)

3. 協議会の開催(年度1回)

- ・日時：平成22年10月29日(金)13:30～
- ・場所：ホテル東日本宇都宮

4. 啓発パンフレット(患者向け)の増刷・配布

- ・平成21年度：115,000部
 - ・平成22年度：85,000部
-
- 200,000部

